

発行所

社団法人 埼玉県電業協会  
〒336-0031 さいたま市南区  
鹿手袋4-1-7 (建産連会館内4F)  
TEL 048(864)0385  
http://www.saidenkyo.jp/  
kyokuchou@saidenkyo.jp

さいのかがやき

# 彩の耀

第152号

平成20年1月31日発行

発行人 佐野良雄  
編集人 広報委員会  
(委員長 浅子 洋)  
編集 日本工業経済新聞社  
(埼玉建設新聞)



## 埼玉から日本を変える ～埼玉発 全国発信～

埼玉県知事 上田 清司

社団法人埼玉県電業協会の皆様、明けましておめでとうございます。  
健やかに平成20年の新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

昨年8月より2期目がスタートしました。

私は就任以来埼玉を安心・安全な県にすることをまず第一に取り組んできました。警察官を増員するとともに、地域の皆様の民間パトロール、経済団体や巡回事業者など多くの皆様に御協力をいただいた結果、治安が回復が続いています。特に強盗や侵入盗などの重要な犯罪が大きく減少しました。

産業振興については、企業誘致大作戦、県の制度融資改革、創業・ベンチャー支援などに打ち込みました。その結果、平成16年から18年の埼玉県内の事業所は増加数、増加率がともに全国2位と、成果が形になりました。

また、福祉・医療も充実を図りました。障害者雇用サポートセンターの開設などによる障害者の就労支援や乳幼児医療費助成の拡大、ドクターヘリ専用機の整備などに努めてきました。

今年もこうした取組を充実するとともに、「みどりと川の再生」「行革日本一」「女性のチャレンジ支援」などにスピーディに取り組んでいきます。

「みどりと川の再生」では、自動車税を活用した基金を設置し、みどりの保全・創出を県民参加で進めていきます。また、2年程度でいくつかの川をモデルに集中的に川の再生に取り組み、確かに変わったと感じられるような清流プロジェクトを成功させたいと思っています。

「行革日本一」では、全国で初めての外かく団体への天下り廃止や県民に対して日本一少ない職員数を実現しています。さらに、地方自治法第2条第14項に規定されている「最少の費用で最大の効果をあげる」という基本を踏まえ、埼玉県を史上最小・最強の地方政府にしていきます。

「女性のチャレンジ支援」では、女性のキャリアアップを応援しています。また、並行してパパ・ママ応援ショップの拡大やワークライフバランスの推進などの子育て支援策を進めます。

私はこれからは、地域社会でともに助け合う「共助」の世界が重要だと思います。民間パトロールの成功を踏まえ、行政がつなぎ役となり、川の再生や子育て支援などで社会全体をまきこんだムーブメントをおこしていきたいと考えています。

昨年、共助の大きな試みとして、ボランティア貯蓄制度を秩父市で始めました。これは元気な高齢者がボランティアで支援が必要な高齢者を助け、その時間を貯蓄して使えるという制度です。この仕組みを成功させ、県全体に広げていきたいと考えています。

また団塊世代など中高年の方々に共助の世界でも御活躍いただけるよう、団塊世代活動支援センターで支援していきます。

埼玉県では、県の制度融資改革により日本一の中小企業融資が実現できました。また、全国で初めて特別介護老人ホームの県単独助成制度を導入し超高齢社会に向けての足掛かりを作り、子供たちの将来のために高校生の奨学金の貸付水準を日本一にしました。

私は今後もこうした先進的な成功事例を全国に積極的に発信し、埼玉から日本を変えるという大きな目標を持って取り組んでいきます。

そして、日本一がいくつもあることで県民の皆様が誇れる、ゆとりとチャンスにあふれた田園都市の集合体としての埼玉県の実現を目指してまいります。

県民の皆様には、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この1年が埼玉県電業協会にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

## 社会環境に対応できる 足腰の強い会社づくりを

社団法人 埼玉県電業協会会長 佐野 良雄



新しい年を迎え謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は熊谷市で史上最高気温を記録したり、大型サイクロンのバン格拉ディッシュ直撃、ハリケーン、台風等の大型化、また、世界各地での砂漠化の拡大等地球温暖化の影響と思われる異常気象が発生しました。ここ数年のこれらの現象を見ていると文明が発達して以来、かつてない自然界の大きな変化を感じさせる年でありました。

経済面では、米国のサブプライム問題を発端とする信用不安や、中国、インド等の発展途上国の継続的な経済発展と相俟って、投資ファンドの動向が一因とも思われますが、原油価格の高騰、レアメタルを中心にさまざまな資源の枯渇を想定した資材の値上がり等、産業界と国民生活にその影響が現れてきております。

我々の業界においても「公共工事契約適正促進法」、「官製談合防止法」「公共工事品質確保促進法」と法規制され、公共性、透明性の観点から、一般競争入札が契約方法の主流となり、加えて公共工事が年々減少している中、低下価格入札が横行しております。

結果、手抜き工事、不良材料使用、過剰な低価格での下請け発注等が懸念され、公共工事の本来の品質の確保に繋がる総合評価方式の拡充がいろいろな形で進められているところであり、協会でも県から講師をお招きし講習会を開催する予定です。

また、建築基準法改正による影響が建設工事のそれぞれの業界に時間を追って出始めております。

我々業界の個々の企業の競争力は、社員、または会社に潜在する能力に依存する施工技術力や営業力にあると思われ、これらを継続的に共有活用して行くことが求められていますが、現状の建設業のおかれている厳しい状況の中で、建設業界の本来の地位向上は基より、魅力ある業界として発展させて行くために課題は山積していると思われまます。

団塊世代の退職問題、新入社員の確保難、本来、人が重要なポジションを持つ業界の中で人材の育成確保は、大きな問題と捉え、相手の期待に沿えるよう協会、企業としての道を模索していかなければならないと思います。

学校との緊密なコンタクトによる若い人材の積極的な求人活動、それぞれの抱える優秀な人材の有効活用、外部講師による各種講習会の開催等、会員企業の技術レベルの向上を図って行きたいと思っております。また、協会として発注諸官庁と平直な意見交換をとおして双方が抱えている課題を解決していくよう努めていきたいと考えております。

更に、具体的な姿が見えつつある公益法人改革へも取り組み、魅力ある協会となるようその方向性を検討して行きたいです。

最後になりますが、FIFAクラブワールドカップで地元浦和レッズがJリーグ終盤戦の不本意な試合を払拭して、セパハンに快勝、準決勝に進出しA.Cミランには惜敗したものの見事3位を勝ち取る快挙を成し遂げました。

業界においてもレッズ同様、一山を乗り越えてさらに飛躍する1年となりますことを切に希望しております。

本年も皆様のご支援ご協力をお願いし皆様のご多幸とご健勝を祈念しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 三県連絡会議

# 協会のあり方を討議 千葉が主催で開催

千葉・神奈川・埼玉の各県電業協会代表者による「三県連絡会議」が11月7日、千葉市内のオークラ千葉ホテルで開催された。今回は議題を「これからの協会のあり方について」に絞り各県から事前提出されていたアイデアをもとに2時間に渡って意見交換した。

討議に先立ち開催県である千葉県電業協会の並木会長は「夢のない業界と思われ優秀な人材が入ってこない。技術者不足など業界全体で考えないとゆゆしき事態に陥る」とあいさつ。また次回開催県の埼玉県電業協会の佐野会長は「このままの状態を放置したら協会の存立基盤が無くなってしまいます。いろいろなアイデアから良い方向性を見出せるかと思う」とあいさつした。

続いて「これからの協会のあり方について」討議に入り①人づくり・人材の確



あいさつする千葉県並木会長

保②官庁との関わり③協会の存在意義④大企業と地元企業の棲み分け—の4つの柱を今後の課題として打ち立て、次回開催の埼玉県開催会議で引き続き具体的な提案により討議を重ね、内容を固めていく事で会議を終了した。

三県連絡会議の出席者は次のとおり。

【埼玉県】佐野会長、荻野副会長、島村副会長、岡村副会長、荒川事務局次長

【神奈川県】内藤会長、十八日副会長、山口副会長、大竹常務理事

【千葉県】並木会長、富田副会長、輪湖副会長、黒木理事、五十嵐理事、山内常務理事

## 技術講習会

# 工事成績評定点アップ法 をテーマに70人が参加

# 事業主要

12月5日にさいたま市の建産連会館で会員企業の経営者と技術者を受講対象者とした「平成19年度第2回技術講習会」を開催しました。

講習会に先立ち内山武司・技術研究委員長は「入札制度の改革で技術提案型や施工体制確認型など総合評価が取り入れ

られ、工事成績評定点を求めています。今回はこの制度に迅速かつ適正に対応していくための講習会ですので、十分な成果を以って望んで下さい」と受講者を激励するあいさつをしました。

第2回目の今回は「工事成績評定点アップの方法」を学ぶもので、会場となっ

た同会館第1会議室には70人が参加。講師を務めた資格支援企業シード(川越市)代表・関根康明氏の約2時間半の講演を熱心に聞き入っていました。



内山技術研究委員長

講習内容は8項目からなっており①検査の概要②評定制③受検体制④書類の留意点⑤工事の留意点⑥施工のヒント⑦監督員対応⑧まとめ—を配布した資料とスクリーンを使って細かに説明していただきました。

関根講師は検査の目的を「品質水準+安全性+快適性が一体になると顧客(発注者)の要求は満たされます。そのためには以上の項目を守るとともに⑥の施工のヒントで「お金でなく知恵を出す!」に重点を置くことも重要だと強調していました。



実りが多かった講習会

# さいたま市の歩み

(株)岡村電機 代表取締役 岡村 一巳



協会だより  
さいたま支部

さいたま市は、皆さんご存知のように平成13年5月1日旧浦和・大宮・与野の3市合併により誕生し、2年後の4月1日に全国13番目の政令指定都市になりました。早いものと言うか、未だ誕生以来7年目と歴史の浅い都市です。

寄せ集めの感のある我がまちさいたま市が、市民心一つに出来る話題と言ったら「サッカー」でしょう。1908年埼玉師範学校（現埼玉大学教育学部）で蹴球部が創設され、戦前その師範学校が全国優勝し、戦後は県立浦和高校、浦和市立高校、県立浦和西高校、市立浦和南高校と市内4つの高校が全国優勝し、サッカーのまちのDNAが現在まで脈々と受け継が



れているようです。

その証拠に、1つの都市で来年も大宮アルディージャと浦和レッズの2チームがJ1リーグに所属します。かつては、野球で言えば阪神ファン、サッカーではレッズサポーターと揶揄されたときもありました。レッズサポーターは熱が入り過ぎて周囲に迷惑をかけたこともありました。私どもは、縁あって、駒場・さいたまスタジアムの両工事の一部をお世話になった関係から、私もたまに観戦にいけますが、キックオフ前さいたまスタジアムの5万を越す声援の中で、場内にフィールド音響放送が流れ、レッズのテーマ曲に合わせたサポーターの「ギンギン」の応援には、何か感動を覚えます。これだけ、注目されていて選手が頑張らないわけがありません。近年のレッズの快進撃、クラブチーム国内ナンバーワンの動員力、収益力、そして、先日は惜しくもJリーグ優勝は逃したものの、ACLチャンピオンに日本で初めてなりました。



ところで、サポーターは圧倒的に若者と思われるでしょうが、結構年配者と思われるおばさんやおじさんが混じっているのが見受けられます。こういう人たちが熱狂的といわれるサポーターを支えている一人ひとりかと思うと、Jリーグ誕生から10数年、よくぞ、我がまちに「このスポーツ文化」が舞い降りたなど、サッカーを育ててくれたこの土壤に、感謝しなければいけないのかなと思います。私たちが取り巻く経済状況は大変厳しいものがありますが、こんなことを考えているひとは何もかも忘れられて、また、何か元気がわいてくる気がします。

## 電気やの女将

飯島電器工事(株) 代表取締役

飯島 敦子



# Voice

私が先代から会社を引き継ぎ、社長というよりは電気やの女将になって、もう四年目になりました。

ここまで来られたのは、仲間であり、家族のような社員と子どもたちの存在です。

会社を引き継がなければならない状況に陥ったとき、「社長」という二文字が私にとってとても重くのし掛かってきました。

「電気のことなど、右も左もわからず、蛍光管でさえ取り替えることができない女が、電気やの社長になれる訳がない」。そう思っていた私を励まし支えてくれたのは、会社のみならず子どもたち。そして、みんなが（あえて社員という言葉を使いたくないので…）私に言ってくれた言葉がきっかけでした。それからです。「社長になれなくても、女将ならできるかな？」と思えるようになったのは、

そのときの言葉は私の宝物になっています。

最初は自分の仕事以外は、毎日の作業伝票に目を通し、

流れを掴むのに精一杯でしたが、今ではみんなと一緒に打ち合わせができるまでになりました。また、芸術作品である現場を実際に見て、そして教えてもらい、みんなの仕事を少しでも理解していきたいと思っています。

辛くて大変な時期を一緒に乗り越えてくれたみんながいる限り、女将として、気持ちよく働ける雰囲気や環境を整えることに努力していきたいと思っています。この三年間、みんなと食事をし、お酒を飲み、笑い、怒り、そして議論してきました。これからも「泣き笑いの人生」を送っていききたいと思っています。

——実は、原稿依頼の話があった時、驚きと困惑で頭の中が真っ白になりました。おしゃべりは好きですが、スピーチ・文章は大の苦手。さらに、知識がない…という訳で、皆様には大変申し訳ありませんが、自分のことを書かせていただくことにしました。——

# これで資格はまる○



## 『電気工事施工管理技士』取るぞ計画 【実地試験対策 その2】



SEEDO  
関根 康明

### ■電気用語の覚え方

電気の重要語句を80～100字程度の文章で説明する問題が出ます。これを1つの文章として暗記するのは労が多く、忘れやすいので、2つに分けて覚えます。

- ①用語の本質的な説明
- ②対策、特徴などの補足的説明

この2つをあわせて解答のスペースを埋めるとよいのです。

【例】「塩害」について説明せよ。

【解答】①海岸に近い送電線路、受変電設備では、潮風により碍子や変圧器などに塩分が付着し、絶縁破壊を起こすことがあり、その害をいう。

②対策として、碍子のシリコンバウンド塗布、連結による絶縁強化、設備の屋内収納、GISの採用などがある。

①と②を合計すると110文字です。少し多めの字数なので、一部忘れてもOKです。

キーワードは、太字で表した「潮風」「塩分が付着」「絶縁

破壊」「絶縁強化」「GIS」です。これを繋げれば文ができます。

潮風 → 海岸に近い場所、潮風が吹いてくる地域を連想する。

塩分が付着 → 塩分が付着して困る電気機器を考える。碍子、変圧器など。

絶縁破壊 → 起こると大変。

絶縁強化 → 破壊を防ぎ、強化する方法は何？

GIS → ガス絶縁開閉装置のこと。専門用語を入れるのも有効。

一字一句丸暗記する必要はありません。太字のキーワードを覚え、内容を理解すれば前後の脈絡から模範解答に近い文章ができます。実際に覚えたら何度も書いて練習します。

例年、12の用語から4～5問を選択解答するので、専門外で不得手な用語はカットしてよいでしょう。

※機会ある毎に、2つに分けて覚える方法を提唱してきましたが、平成19年度は1つの用語を2つに分けて記述させる問題となりました。この方法の有効性が実証されたと思います。

### ■文章作成のポイント

記述式問題すべてに共通する文章作成の要点を述べます。

#### 1 話しことばは用いない

話しことば、流行的なことばは文章にすると軽薄になるので使わない。(次の\_\_\_)

【例】通行人とかが危なくないようにバリケードを設けたりした。

→ 通行人の安全に配慮し、バリケードを設けた。

「……とか」、「……したり」は話しことばです。

また、「危なくないように」は否定形で、「安全」ということばを使うほうが適切です。

#### 2 キーワードを入れる

キーワードとは、その文の鍵(キー)を握ることば(ワード)です。専門用語だけでなく、内容をより正確、具体的に伝えることばをいいます。

キーワードを入れるだけでメリハリのある、正確で具体的な文になります。(\_\_\_\_\_部分がキーワード)

【例】① 通行人の安全に配慮した。

② バリケードを設け、通行人の安全に配慮した。

「バリケード」という、ごくありふれた用語を加えただけで現実味が増す。この場合、バリケードがキーワードとなっています。

#### 3 簡潔な表現

簡潔とは簡単に明瞭なこと。くどい表現、同じことばの繰り返し、意味がいくつかにとれるあいまいなことばは使わず、明快で主体性のある表現を心がけましょう。

Simple is best. です。

【例】A種接地工事の接地抵抗値が10Ω以下であることを確認するため、接地抵抗計を用いて接地抵抗値を測定した。

→ 接地抵抗計を用い、A種接地の値が10Ω以下を確認した。

「接地」がらみのことばが多過ぎます。

#### 4 文の長さを調節する

以上述べた1から3までの基本に従って、題意に即した文を作りますが、解答用紙のスペースがどのくらいあるかによって、長さを調整しましょう。

たとえば、3行のラインが引いてある場合、3行末近くでびたりと納まれば理想ですが、最低でも2行末まで、できれば3行の初め位の字数となるようにしたいものです。

(1) 文を長くしたいとき

【例1】危険作業を明示した。

→ 朝のTBMにおいて、高所での危険作業を明示し、周知徹底した。

①TBMというキーワードを入れます。必要に応じ、(安全常会)程度の補足説明は挿入してもよいが、TBM(道具箱のまわりに集まってその日の打ち合わせをすること)のようにくどい説明になっては逆効果です。

②具体的な危険作業や場所を記載するとよいでしょう。

少しだけ長くしたいときは、次の方法も有効です。

【例2】①周知した → 周知徹底した(強調したことばを付け足す)

②外来者 → 外来者、通行人など(同種のことばを付け足す)

③無駄をはぶく → 無理・無駄・斑をはぶく(〃)修飾語を付けすぎると、化粧のきつい文になるので注意してください。

(2) 文を短くしたい場合

これは、長くする場合より簡単です。文を長くしたいときに述べた方法の逆を行えばよいのです。読み返して無駄と思われる箇所を削除します。ただし、削除したことによって、前後の繋がりがおかしくならないよう注意する必要があります。

要点を1文でいえば、「話しことばは用いず、キーワードを含んだ簡潔な表現で適当な長さにまとめる」ということです。

4回にわたって寄稿させていただきました。お役にたてば幸いです。

◆関根 康明(せきね やすあき)

1951年、埼玉県川越市生まれ。埼玉県庁勤務の後、SEEDO

(SEKINE Engineering Design Office)代表。出前講座、資格取得支援等をおこなっている。

# 一期一会の精神で —平成19年秋旭日双光章を受章して—

国益電設工事(株) 会長 町田 迪



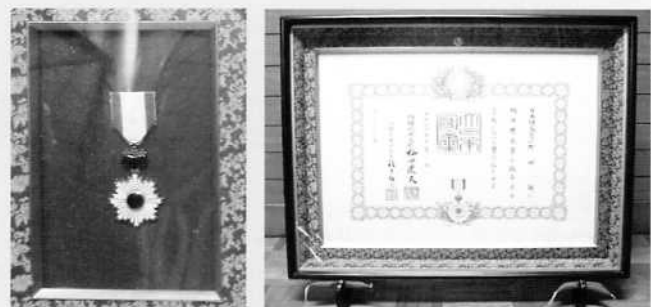
「何時いかなる時も、一生に一度しか出会いのないものとして、悔いのないようにもてなせ」という茶道の教えを基に「この仕事との出会いは、一生に一度だけという思いをこめて誠心誠意をもって真剣に作業せよ。」と若輩者であった私に、滔々と説いてくれた先輩がいた。あれから、50余年ただ一心不乱まっすぐに走ってきた感がある。

私が電気工事業に携わった起点は昭和33年、その頃は今のよう何でも豊富な世の中と違い物資も少なく食べる事に執着することすらできない日々であったと記憶する。ただ、人間が暖かかった。炎天下の中、流れる汗をふき取りもせずもくもくと働いていると、「ちょっと休みなよ。冷たい麦茶で一息つけよう。」誰彼と無く声かけがあった。

当時は急ぎ立てられる仕事が多く、頂上の見えない上り坂を登っていくような毎日で昼間は工事現場へ夜間は大学へと体の限界まで動いていたが、時代の要求している技術を習得してはそれが形になっていくのを見ると遣り甲斐をひしひしと感じていたものだ。

昭和46年に国益電設工事代表取締役社長に就任すると、自社のことだけでなく電気設備業者全体の地位向上が必要であると感じ、4年後38歳で協会の前身である任意団体埼玉県電業協会理事に就任することとなる。そこからは、法人設立準備委員をへて社団法人化後初代企画運営委員長として持てる力を惜しむことなく発揮し気がつけば自然と行動が伴っていた。一時期役職を離れた事もあったが、平成4年に副会長に、平成6年に会長職そして、平成14年から名誉会長として、平成18年に理事退任するまで協会として抱える問題は多く、バブル後の業界立て直しにも奔走した。今思うに、自社の仕事よりも多くの時間を費やしていたかに思う。

これも「一期一会」の精神で、これが業界のためになればと考えていた。



叙勲賞状と勲章

昨年秋、平成12年以降の会長・名誉会長時代、幾多の難題を切り抜け業界の発展に誠意努力した成果として、榮譽ある旭日双光章を受章いたしました。

これも、今まで支えてきてくれた方々のお力添えがあったことで、協会会員の皆様、関係機関の皆様には大変感謝申し上げます。

平成20年という新たな年を迎え、晴れやかな気分とともにこれからの協会が難しい局面から打破できるよう祈ってやみません。私は、顧問として、これからも協会を支えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



榎塚県土整備部長と国益電設工事(株)町田浩征代表取締役社長

## 平成19年度雇用改善の集い 1社と9氏に表彰状



株八洲電業社の佐藤高太郎氏

埼玉労働局・埼玉県・雇用能力開発機構埼玉センター・県建設業協会主催、埼玉建産連協賛の『平成19年度建設雇用改善推進埼玉大会』が11月30日、建産連研修センターで開かれ、優良事業所表彰1社と若者からのメッセージ入賞9者に表彰状と記念品が送られました。当協会からは、若者からメッセージで株八洲電業社の佐藤高太郎氏の「電気工事業に就職して」が建産連会長賞を受賞しました。

他は、19年度の建設雇用改善優良事業所は、富士見市の島田建設（埼玉労働局長表彰）が受賞。建設業に働く若者からのメッセージは、雇用・能力開発機構理事長賞に金岡伸見氏。同埼玉統括所長賞が田上貴、佐々木雄史、高畑じゅん、岩崎達郎の4氏。建設業協会会長賞は長尾卓真、神蔵満春の2氏。建産連会長賞が成田稔、佐藤高太郎の2氏がそれぞれ受賞しました。

あいさつに立った古曳埼玉労働局長や古郡会長らは、受賞した企業とメッセージの各氏を称えとともに「若者が来なくなるような産業に環境を整えなければならない。我々も最大限努力していくが行政の協力も必要。夢と希望を持てる産業にしていきたい」と決意を述べていました。

1月

- 10日 官公庁新年挨拶回り
- 25日 企業対策委員会  
「建築工事における埼玉県総合評価方式」講習会
- 30日 事故防止対策委員会



2月

- 6日 技術研究委員会
- 7日 総務委員会
- 12日 第10回理事会
- 14日 広報委員会

3月

- 11日 第11回理事会

(社) 埼玉県電業協会会員

支部長 ◎ 副支部長 ○

さいたま支部 (19社)

- 旭電気工業株(大宮区)
- 宇田川電気工事株  
埼玉支店(大宮区)
- 内田電設株(岩槻区)
- 浦和電気工事株(南区)

(さいたま市)



- 大塚電設株(浦和区)
- ◎株岡村電機(緑区)
- 国益電設工事株(南区)
- 埼玉電設株(中央区)
- 三洋電設株(南区)
- 新生電気工事株(見沼区)
- 竹内電気株(岩槻区)
- 株積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業株(見沼区)
- 浜野電設株(北区)

- 株万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設株(北区)
- 三津工業株(南区)
- ムサシ電機工業株(桜区)
- 株八洲電業社(北区)

東部支部 (10社)

- 株内田電気商会(久喜市)
- 株大久保電気(越谷市)
- 島村電業株(上尾市)
- 株新電気(三郷市)
- ◎株大広電気(八潮市)
- 太洋電設工業株(越谷市)

西部支部 (18社)

- 株高岡電気工業(松伏町)
- 野口電気工事株(越谷市)
- 武蔵野電設株(蓮田市)
- 株弓木電設社(白岡町)
- 株新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事株(川越市)
- 株市之瀬電設(志木市)
- ◎株岡島電気商会(川越市)
- 株おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事株(狭山市)
- 株三共電気商会(和光市)
- 株関根電気商会(川越市)
- 相馬電業株(和光市)
- 株電成社(川越市)
- 株中村電気(新座市)
- 橋電株(所沢市)
- 株橋本電工(所沢市)
- 馬場電気工業株(新座市)
- 浜田電機株(坂戸市)
- フジヤ電気工事株(川越市)
- 株松本電機(和光市)
- 株ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部 (11社)

- 内山電設株(川口市)

- 株奥富電気工事(川口市)
- 川島電気株(川口市)
- 株佐久間電設(川口市)
- 佐野電機株(川口市)
- ◎三位電気株(川口市)
- 高山電設工業株(川口市)
- 株田部井電気(鳩ヶ谷市)
- 釣谷電機株(川口市)
- 那須電機工業株(川口市)
- 領家電設株(川口市)

北部支部 (16社)

- イーテクノス株(行田市)
- 株エコー(深谷市)
- 岡根電気工事株(本庄市)
- 小沢電気工事株(行田市)
- 共和電機株(秩父市)
- ◎熊谷電機株(熊谷市)
- 株栗原電機(深谷市)
- 霜田電気株(皆野町)
- 中外電気工業株(深谷市)
- 株東電工業社(熊谷市)
- 株長井電機(熊谷市)
- 株沼尻電気工事(深谷市)
- 株早川電工(行田市)
- 松山電設株(東松山市)
- ムサシ電機工業株(行田市)
- 株躍進電気(深谷市)

雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター

<雇用開発業務>

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

<能力開発業務>

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164 [建設労働・財形担当]

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8